時事新報

驛遞局認可
明治十八年二月十日　火曜日
第八百八十八號
日曜日休刊

公報　府縣

○大藏省達第四號
明治十二年(十月)舊地租改正事務局總裁達番乙第九號
達ハ自今廢止ス
右相達候事
明治十八年二月九日　大藏卿伯爵松方正義

○内務省告示第五號
明治十年(四月)當省甲第七號布達司藥場藥品撿查印紙
ハ本月十五日限リ相廢シ爾後衛生局試驗所ニ於テ賣藥
用ニ適スベキモノト認メタル藥品ニ限リ左ノ印紙貼用
候條此旨告示候事
明治十八年二月九日　内務卿伯爵山縣有朋
右現品見本ハ地方廳ニ下渡ス

時事新報

在京城支那兵ノ撤回

我國ニテハ京城事變ニ就キ早晩支那政府ニ談判スルヿナラン、談判トアレバ我レノ蒙リタル大不敬大損害ニ對シテ十分ナル要求ヲ為スヿナラン、要求トアレバ其滿足ヲ得ルヿナラン、又其要求中ニハ在京城支那兵ヲ撤回スルノ一事ヲモ含蓄スルヿナラントハ我輩ノ豫テ信ズル所ナリ元來支那兵ノ京城ニ屯駐スルハ分明朝鮮禍亂ノ源因ト爲ルガ故ニ我國ニテハ今回ノ事變ノ有無ニ拘ハラズ其撤回ヲ支那ニ要求ス可キ筈ナリシガ今ヤ大ニ之ヲ要求ス可キ證據ヲ得、又其機會ニ遭遇シタレバ此機ニ乘シテ我レヨリモ之ヲ要求シ彼レモ亦之レニ應セザル可ラズ何トナレバ在京城支那兵ノ撤回ハ日、支兩國ノ便宜得策ニシテ一日モ其實行ヲ延引ス可ラザルヿナレバナリ今其次第ヲ左ニ陳セン

第一在京城支那兵ノ撤回ハ何故我國ノ便宜ナラント云フニ近來支那ニテ朝鮮ノ事ニ干渉シ暗ニ朝鮮爲中國所屬之邦ト唱ヘテ故ナク兵ヲ内地ニ屯スレバコソ其兵ガ朝鮮ノ内難ニ乘シテ我レニ大不敬大損害ヲ加フルニ至リタルナレ又朝鮮人ノ其生ヲ聊セズ都鄙安堵ノ思ナキハ支那兵アルガ爲メナリ慷慨憂國ノ士ガ國ノ獨立ヲ謀リテ血ヲ宮闕ニ濺キタルモ亦支那兵アルガ爲メナリ斯クテ支那兵ノ京城ニ屯駐スルハ朝鮮禍亂ノ源因ヲ爲スト雖ドモ顧ミテ支那ノ現狀ヲ察スレバ尾大不掉内ノ始末ニスラ困ヲ果テ立派ニ朝鮮ヲ保護スル程ノ餘裕アルニ非ズ保護ノ力ナクシテ徒ニ干渉ノ累ヲ為スガ故ニ歐洲有力ノ諸大國ハ鶴ノ目鷹ノ目、其事情ヲ看破シテ行ク〳〵其隙ニ乘セントスルノ策ヲ立テ日耳曼ノ如キ近來頻リニ朝鮮ノ事ニ注目シ恩ヲ賣リ徳ヲ響キ漸次其威權ヲ立テ置キテ一旦機アラバ之レヲ其掌握ニ歸スルノ底意アルモノ、如シ斯クテ朝鮮國ガ強大國ノ手ニ落ルナバ支那ハ勿論日本モ隣家ニ勁敵ヲ生シテ其應接交際ノ危險ナルヿ固ヨリ朝鮮人ノ比ニ非ズ左レバ今日ヨリ京城屯駐ノ支那兵ヲ撤回シテ朝鮮ノ無事獨立ヲ助ケ恰カモ朝鮮ノ唇ヲ以テ我齒ノ寒キヲ防クヿ今日東洋ノ政略ヨリ視テ最モ得策ナラント信ズ即チ我國ヨリ在京城支那兵ノ撤回ヲ要求スル所以ノ一端ニシテ支那政府ハ如何樣ノ口實ヲ設ケルモ之ヲ拒絕スル能ハザル可シ

第二在京城支那兵ノ撤回ハ何故支那ニモ得策ナラント云フニ既ニ前段ニモ陳述セシ如ク今日ノ支那ハ其版圖ノ大ナルガ為メ尾大不掉内ノ始末ニスラ困ヲ果ツルノ勢ナルニ今又朝鮮ヲ屬邦トセントスルハ肥滿ノ老大漢ガ新ニ贅疣ヲ求ムルガ如シ之ヲ得タルガ為メニ實益ハナクシテ徒ニ邪魔面倒ヲ増シ甚シキハツノ贅疣ヨリ事ヲ生シテ為メニ其生肉ヲモ殺ガル、ノ恐ナキニ非ズ其一例ニハ安南ノ事ヲ視ル可シ、初メ佛國ガ安南ヲ經營スルニ當リ支那ハ横合ヒヨリ安南爲中國所屬之邦ト唱ヘ内々兵ヲ東京ニ派遣シタルガ故ニ遂ニ佛清事件ヲ惹キ起シ安南ノ主權ヲ失ヒタル上ニ處々ニ兵禍ノ慘毒ヲ蒙リ土地ヲ占領サレ償金ヲ要求サレ虻蜂(アブハチ)取ラズ、幾ル所ハ唯損害ノ痛苦ノミニシテ事猶未ダ平穏ニ歸セズ今後或ハ其苦痛ヲ總身ニ及ボサントスルノ仕合トハナリタレ其禍源ニ遡レバ安南ヲ屬邦視シテ兵ヲ其地ニ置キタルノ應報ニ歸セザルヲ得ズ故ニ支那若シ安南ノ事ニ鑑ミテ朝鮮政略ヲ定メズンバ因果的面、前轍ノ蹈廻シ來ランヿ亦疑ヲ容レザル可シ即チ在京城ノ支那兵ヲ撤回スルハ支那ニ取リテモ亦大利アル所以ニシテ今後我國ヨリ其撤回ヲ要求スルヿアラバ斷然之ニ應スルニ若カザルナリ

右ノ如ク在京城支那兵ヲ撤回スルハ日支兩國ノ長計ヨリ考ヘテ共ニ極メテ得策ナレバ之レガ為メ朝鮮ノ便宜幸福ハ亦格別ノ事ナル可シ支那ニテ朝鮮ヲ屬邦視セントスレハコソ獨立黨モ生スルナレ、支那ニテ朝鮮ニ干渉スレバコソ事大黨モ起ルナレ、支那兵營ヲ撤テ京城ヲ引キ去ラバ獨立事大ノ名稱黨派モ亦随テ消滅ス可シ或ハ其内訌軋轢ノ全ク収マルヿナシトスルモ大臣ノ血[illegible]ヲ宮闕間ニ見ルガ如キヿハナカル可シ透通ノ遺族禍淵魚ニ及フガ如キヿモナカル可シ即チ支那兵京城ヲ引キ去ラバ朝鮮ノ官民ハ幕燕ノ危ヲ免レテ幸ニ小康ヲ樂ムヿヲ得ベシ但シ支那兵引キ去リタリトテ必ズシモ同時ニ我日本兵ノ撤回ヲ望ム可ラズ我兵ノ京城ニ駐在スルハ朝鮮ヲ大日本所屬之邦ト云フガ為メニアラズ又武力以テ大ニ其内治ニ干渉シ京城ノ朝廷ヲ變シテ東京朝廷ノ出張處一般ノモノト為サントスルガ為メニモアラズ唯我日本兵ハ滿世界ノ人ノ記臆スル如ク明治十五年ノ朝鮮事變以來我日本國ヲ代表スル我公使館ノ安全ヲ保ツガ為メニ甚ダ必要ナリトシテ日韓兩政府約諾ノ上ニテ當分コレヲ京城ニ駐在セシムルノミ若シ京城ニシテ一旦安全ノ域ト為ランカ我日本政府ハ他人ノ勸告ヲ俟タズ直チニ其兵ヲ撤回シテ文明國普通ノ國交際ヲ為スニ遲疑セザルベシ且ツ我國ハ素ヨリ東洋ノ先導者ヲ以テ自カラ任シ既ニ明治九年ニハ公明正大ナル日韓條約ヲ以テ天下ニ率先シテ朝鮮國ノ獨立ヲ認メタル程ナルガ故ニ支那兵恐ク京城ヲ去テ我兵獨リ跡ニ留マルノ日ト雖ドモ決シテ支那朝鮮ニ不利ナル擧動ヲ為サヾルヤ日ヲ視ルヨリモ明白ナルベシ故ニ今回ノ朝鮮事變ニ關シ早晩我政府ヨリ支那政府ニ談判スル其个條中ニ支那兵撤回ノ一條アラバ支那政府ハ自國ノ為メ又日本朝鮮ノ為メ十分ニ安心シテ急速其營ヲ拔キ去テ可ナリ

雜報

○行啓餘聞　去る七日皇后宮れ山階親王の御邸へ行啓遊はされし事ハ前號の紙上よ記載せしが今其御模樣を承はるに同日午後一時三十分仝邸へ御着輦ありければ小松宮の御先導よて御休憩所へ成らせ給ひ山階宮へ謁見仰付ふき種々の御物を賜はり且家扶從女等へも御物を賜はりふり夫より皇族并御息所へ拜謁仰付られ次て同宮より御料理御菓子を獻上ゐ右畢て小松宮れ御先導よて舞樂御覽所へ出御在らせ給ひ振鉾、賀殿、地久、加陵頻迦、蝴蝶、納曾利、長慶子、等の舞樂を御覽せられ畢て再び御休憩所へ入御夫より御食堂へ成らせ給ひ皇族并御息所女王方、三條太政大臣、伊藤宮内卿の兩夫人杉宮内二等出仕、香川同少輔、堤同大書記官其他與侍等へ御陪食仰付られ御餘興よ那鄲、小督、葛城、岩井、鐃ノ段、勸進帳、氷室等の獨吟一調、陸軍樂隊れ奏樂等ありて同七時過還啓遊はされたり

○山階晃親王　同親王殿下にて本月中旬より西京へ赴かれ同地にて久邇宮を始め華族貴顯等を招請されて古稀の壽莚を開かれ其後は該地へ住居さるゝ筈ありと

○温泉行　三條公にハ近日豆州熱海の温泉に赴く由にて滯在れ二週間ありと

○伊藤參議　よは本日頃東京出立伊豆熱海の温泉へ湯治に赴くよし

○伊達宗城氏　伊達修史館副總裁ハこの程より病痾にて引籠り居しが兩三日前辭表を呈出せしとの噂あり

○上野公使　曩に病痾療養れ爲め歸朝せし伊國公使上野景範氏は兎角容体の勝れずして言語を交ゆにも困しむ程ありと

○故岩崎彌太郎氏　同氏れ死去れ前に探め死期の近きよ迫りたるを知り當時駿河臺に住する八十歳以上の老母と迎へて懇に永訣を告け久しうらずして再び地下よ御目に掛るべしと述べ終り次に兄弟親族一同を枕邊に召び集め各々遺れ誡れも各自れ職掌を盡しく聊りたりとも某が名を汚すが如きとなきを信ずとの旨を最と明白に告げ夫より社員の人々數名を室内に請して銘々に訣れを告けたる後醫師に向ひ笑ゐから最う致し方があいとの一言を此世の名殘りとしく瞑目長逝したる由

○本壽院殿葬儀　前號に記せし如く德川十三代將軍溫恭公の生母本壽院殿れ葬儀れ昨九日午前七時三十分南豐島郡千駄ヶ谷村の邸を出棺し第一よ巡査若干名次に高挑灯十張先供黑服二人紗籠二個伴僧四人導師寛永寺住職夫納鶴海(馬車)造花紗籠二個香爐擔二旒位牌護僧二人白衣棺舁五十人棺脇黑服二人天蓋呉床幡二旒傘杖登生花數臺高挑灯四張喪主從三位公爵德川家達氏代家

扶貴志孝忠一族名代
氏外會送者百餘名よ
同十時にて式畢りしも
審恭れ時に比して十
爲め諸華族の會葬れ

○西村沖縄縣令と華族
那覇港發の通信に曰く
程宮港着の汽船大有丸
般來當地よ歸省中れ
其翌日返禮として同氏
は久數當地に滯留して
京をるとに定まり其
て西村當縣令にハ去
い中秋望夜の宴に親
を張りて侑氏并に
、鰯等を飼養し此十
き場所あれば網打に
人々い陸軍鎮臺の士
餘名、二尺內外れ鯉
あんど活潑々刺ゐる
可らず網打ちの慰み
館(今ハ中學校)にて
に主賓交々歡を盡
侑氏彌々大有丸に乘
て舊藩士民等ハ別を
居たれ共別に騷々し
下に歸るを祈る者れ
出發れ際よ臨まて投
人民の感情い遠く旅
般、其温顔に接した
とを更に恨みざるれ
省中、當地あて二人
て人氣も和らぎ特よ
不景氣の影響もあく

○官廳彙報　海軍機
在勤差免され、機關
氏は横須賀屯營在勤
付けられたり四等驛
に於て大津驛遞出張
務差免されたり

○參謀官　陸軍省に
を大佐よ陞級の參謀
あり

○英佛兵式　大山陸
てハ英佛二國の兵式
あせしといふ

○瑞西國新内閣　瑞
の正副大統領を撰擧
ト氏ダ副統領よ任せ
が同國の新内閣員は
内務卿
驛遞電信鉄道事務
農商務卿
大藏卿兼務